

若葉区地域活性化支援事業 審査シート(新規申請事業)

団体名

事業名

No.	評価項目	評価項目の考え方	評価の基準	評価
I	1 団体の継続性	1年以上継続して活動しているか。又は今後1年以上継続して活動する見込みがあるか。	5点:継続して活動している 又は継続が見込まれる 1点:継続しない可能性が高い	
	2 事業目的の妥当性	事業目的は本事業の趣旨に照らして妥当なものであるか。(若葉区内の活動であるか。地域の活性化や課題解決に資する活動であるか。講演会・イベントの開催のみを目的とした事業でないか。)	5点:極めて妥当なものである 3点:妥当なものである 1点:妥当なものではない	
	3 事業内容の妥当性	公益的な事業内容か。(政治活動、宗教活動をおこなう団体の事業でないか、特定団体の構成員のみを対象とする事業でないか等)		
	4 事業実施の確実性	事業の実施者が自発的に計画し、責任をもって運営にあたることのできる体制か。事業計画に無理がないか。	5点:確実に実施できる 3点:実施に際して大きな問題点はない 1点:実施できない可能性が高い	
	5 収支予算書の妥当性	収支予算書は、事業計画に対して適切か。事業が確実に実施できる収支状況か。補助金の申請金額は適正か。		
II	1 地域活性化・課題解決	事業は、地域の活性化、生活環境の整備や安全、福祉等の区内の生活課題の解決に貢献するものか。	10点:非常に優れている 8点:優れている 5点:普通 3点:やや劣る 1点:劣る	
III	1 事業の継続性・自立性	人材面・資金面において、今後体制を整え、事業を継続、発展する意欲が見られるか。本補助金がなくなった後も事業を継続、発展する可能性が高いか。	5点:非常に優れている 4点:優れている 3点:普通 2点:やや劣る 1点:劣る	
	2 活動の主体性	団体自身が積極的に活動しているか。(団体自身が活動せず、講師を招いての講演等が活動の主である場合は低評価となる。)		
	3 創造性・先駆性	独自の創意工夫があるか。先駆性があり、今後他団体が同様の試みを行うことが期待されるか。		
	4 事業の対象の広さ	地域住民等が広く対象となる事業か。(対象の多寡で判断するのではなく、活動に公共性があるかどうかで判断。)		
	5 活動の広がり	団体外の区民に自らが主体となるまちづくり活動への参加を促す影響力があるか。(他のボランティア団体や学校等との連携や、インターネット等を活用した広報を行えるか。)		
特記事項				／60

※審査委員の2人以上が「評価項目 I」のいずれかを1点とした場合、又は総合計点数を30点以下の得点とした場合は補助金交付対象から除外する。

若葉区地域活性化支援事業 審査シート(継続申請事業)

団体名

事業名

No.	評価項目	評価項目の考え方	評価の基準	評価
I	1 事業の実施状況	実施時期・場所、実施回数、事業規模、費用など、事業が申請時の計画どおりに進められたか。	3点:計画を上回って実施できた 2点:計画どおり実施できた 1点:計画どおりに実施できなかった	
	2 事業目的の達成度	申請時に掲げた目的が達成されたか。達成に複数年要する目標の場合は、事業の成果が事業目的の達成につながっているか。	3点:達成できた又は達成に十分つながった 2点:達成まであと一歩だった 又は達成に多少はつながった 1点:達成には不十分だった	
	3 事業成果の有効性	事業の成果は、制度目的である地域課題の解決や地域活性化につながったか。	3点:制度の目的に十分に寄与するものだった 2点:制度の目的に多少は寄与するものだった 1点:制度の目的に寄与しなかった	
	4 PR活動の積極性	事業への参加者・協力者を増やすとともに、自団体の活動をPRするために積極的な周知が行われたか。	3点:様々な媒体を活用し積極的なPRが行われた 2点:小規模ではあるが一定のPRが行われた 1点:PRはあまり行われなかった	
	5 外部団体との交流	事業の実施をきっかけとして、外部(他団体、地域住民など)との交流が行われ、団体構成員の増加や新たな事業計画の検討など団体の活性化が図られたか。	3点:外部との交流が行われ、団体の活性化につながる具体的な成果があった 2点:外部との交流が行われたが、団体の活性化につながる具体的な成果はなかった 1点:外部との交流には消極的で、団体活性化のための具体的な成果もなかった	
	6 活動の継続性	事業もしくは団体としての活動の継続・発展に向けた実施団体の動きがあるか。	3点:団体として具体的な計画を立てている 2点:団体としての動きが多少ある 1点:継続・発展に向けた動きはない	
II	1 事業実施の確実性	事業の実施者が自発的に計画し、責任をもって運営にあたることのできる体制か。事業計画に無理がないか。	3点:確実に実施できる 2点:実施に際して大きな問題点はない 1点:実施できない可能性が高い	
	2 収支予算書の妥当性	収支予算書は、事業計画に対して適切か。事業が確実に実施できる収支状況か。補助金の申請金額は適正か。		
III	1 活動の主体性	団体自身が積極的に活動しているか。(団体自身が活動せず、講師を招いての講演等が活動の主である場合は低評価となる。)	3点:優れている 2点:普通 1点:劣る	
	2 創造性・先駆性	独自の創意工夫があるか。先駆性があり、今後他団体が同様の試みを行うことが期待されるか。		
	3 事業の対象の広さ	地域住民等が広く対象となる事業か。(対象の多寡で判断するのではなく、活動に公共性があるかどうかで判断。)		
	4 活動の広がり	団体外の区民に自らが主体となるまちづくり活動への参加を促す影響力があるか。(他のボランティア団体や学校等との連携や、インターネット等を活用した広報を行えるか。)		
特記事項				

※採点の結果、審査委員の過半数が「評価項目 I」及び「評価項目 II」のうち2つ以上の項目を1点とした場合、又は審査委員の2人以上が総合計点数を18点以下の得点とした場合は補助金交付対象から除外する。

若葉区地域活性化支援事業 評価シート

団体名

事業名

No.	評価項目	評価項目の考え方	評価の基準	評価
1	事業の実施状況	実施時期・場所、実施回数、事業規模、費用など、事業が申請時の計画どおりに進められたか。	A: 計画を上回って実施できた B: 計画どおり実施できた C: 計画どおりに実施できなかった	
2	事業目的の達成度	申請時に掲げた目的が達成されたか。達成に複数年要する目標の場合は、事業の成果が事業目的の達成につながっているか。	A: 達成できた又は達成に十分つながった B: 達成まであと一歩だった 又は達成に多少はつながった C: 達成には不十分だった	
3	事業成果の有効性	事業の成果は、制度目的である地域課題の解決や地域活性化につながったか。	A: 制度の目的に十分に寄与するものだった B: 制度の目的に多少は寄与するものだった C: 制度の目的に寄与しなかった	
4	PR活動の積極性	事業への参加者・協力者を増やすとともに、自団体の活動をPRするために積極的な周知が行われたか。	A: 様々な媒体を活用し積極的なPRが行われた B: 小規模ではあるが一定のPRが行われた C: PRはあまり行われなかった	
5	外部団体との交流	事業の実施をきっかけとして、外部（他団体、地域住民など）との交流が行われ、団体構成員の増加や新たな事業計画の検討など団体の活性化が図られたか。	A: 外部との交流が行われ、団体の活性化につながる具体的な成果があった B: 外部との交流が行われたが、団体の活性化につながる具体的な成果はなかった C: 外部との交流には消極的で、団体活性化のための具体的な成果もなかった	
6	活動の継続性	事業もしくは団体としての活動の継続・発展に向けた実施団体の動きがあるか。	A: 団体として具体的な計画を立てている B: 団体としての動きが多少ある C: 継続・発展に向けた動きはない	

特記事項

若葉区地域活性化支援事業 評価シート(個票)

団体名

事業名

No.	評価項目	評価項目の考え方	評価の基準	評価
1	事業の実施状況	実施時期・場所、実施回数、事業規模、費用など、事業が申請時の計画どおりに進められたか。	3点: 計画を上回って実施できた 2点: 計画どおり実施できた 1点: 計画どおりに実施できなかった	
2	事業目的の達成度	申請時に掲げた目的が達成されたか。達成に複数年要する目標の場合は、事業の成果が事業目的の達成につながっているか。	3点: 達成できた又は達成に十分つながった 2点: 達成まであと一歩だった 又は達成に多少はつながった 1点: 達成には不十分だった	
3	事業成果の有効性	事業の成果は、制度目的である地域課題の解決や地域活性化につながったか。	3点: 制度の目的に十分に寄与するものだった 2点: 制度の目的に多少は寄与するものだった 1点: 制度の目的に寄与しなかった	
4	PR活動の積極性	事業への参加者・協力者を増やすとともに、自団体の活動をPRするために積極的な周知が行われたか。	3点: 様々な媒体を活用し積極的なPRが行われた 2点: 小規模ではあるが一定のPRが行われた 1点: PRはあまり行われなかった	
5	外部団体との交流	事業の実施をきっかけとして、外部(他団体、地域住民など)との交流が行われ、団体構成員の増加や新たな事業計画の検討など団体の活性化が図られたか。	3点: 外部との交流が行われ、団体の活性化につながる具体的な成果があった 2点: 外部との交流が行われたが、団体の活性化につながる具体的な成果はなかった 1点: 外部との交流には消極的で、団体活性化のための具体的な成果もなかった	
6	活動の継続性	事業もしくは団体としての活動の継続・発展に向けた実施団体の動きがあるか。	3点: 団体として具体的な計画を立てている 2点: 団体としての動きが多少ある 1点: 継続・発展に向けた動きはない	
特記事項				